

2020年12月期通期実績

- ▷ 営業収益：32,652百万円（2020年12月期と前期の会計期間が異なるため前期比増減率は記載しない）
- ▷ 営業損失：4,752百万円（前期は営業損失5,130百万円）
- ▷ 親会社の所有者に帰属する当期純損失：5,342百万円（前期は当期純損失3,260百万円）

決算のポイント：

- ▷ 前期は決算期変更により9ヵ月決算に対し、当期は12ヵ月決算である。
- ▷ 営業収益32,652百万円：前期8月に取得したJトラストロイヤル銀行の営業収益が通期で寄与した一方、前期は大規模な買取債権の売却により債権売却益を計上した反動減があった。
- ▷ 営業費用17,653百万円、販管費及び一般管理費19,643百万円：Jトラストロイヤル銀行の子会社化に伴い費用が増加。
- ▷ 税引前損失2,978百万円：Nexus BankのA種優先株式に係る投資有価証券評価益1,773百万円を計上したが、Nexus BankのA種優先株式の評価益にかかる繰延税金負債などで税金費用7,145百万円を計上した。

セグメントの業績は以下の通りである。同社はキーノート、Jトラストカード、JT親愛貯蓄銀行、JT貯蓄銀行、キーホルダー（子会社含む）を非継続事業として分類したため、2019年12月期、2020年12月期とも、実績数値から非継続事業を除いた数値に組み替えて記載している。また、総合エンターテインメント事業が廃止されたことに伴い、不動産事業は重要性が乏しくなったため、その他に含まれている。

日本金融事業

営業収益は10,041百万円、セグメント利益は4,860百万円となった。信用保証事業と債権回収事業に注力している。保証料収入は順調に増加。日本保証において、買取債権の回収が進んだことにより買取債権回収益が増加した。営業利益については、日本保証において、買取債権の将来キャッシュフローの見直しに伴い貸倒引当金繰入額が減少した。

韓国及びモンゴル金融事業

営業収益は5,656百万円、セグメント損失は330百万円となった。営業収益は、JTキャピタルにおける貸付金の減少により貸付金利息収益が減少した。TA資産管理における前期の大規模な買取債権の売却による債権売却益を計上したことに比べ大幅に減少。

東南アジア金融事業

営業収益は15,953百万円、セグメント損失は5,541百万円となった。Jトラストロイヤル銀行の連結子会社化により営業収益が通期で寄与。損益面では、前期にJトラストロイヤル銀行の連結化に伴い負ののれん発生益を計上したが、今期は反動減となったため、前期に比べて営業利益は減少。また、銀行預金金利が高止まりするなか、銀行預金利息費用が増加したことも利益の減少幅を拡げた。

投資事業

営業収益は953百万円、セグメント損失は1651百万円となった。Jトラストアジアに関する訴訟関連費用の抑制により損失幅は縮小。

その他の事業

営業収益は607百万円、セグメント損失は161百万円だった。

2021年12月期の見通しおよび中期展望

2021年12月期の会社計画

(百万円)	19年3月期 実績 IFRS	19年12月期 実績 IFRS	20年12月期 実績 IFRS	21年12月期	
				会予 IFRS	前期比
営業収益	74,935	24,728	32,652	32,670	0.1%
販売費及び一般管理費	28,488	18,926	19,643		
営業収益販管費比率	38.0%	76.5%	60.2%		
営業利益又は営業損失	-32,600	-5,130	-4,752	106	-
営業利益率	-	-	-	0.3%	
税引前利益又は税引前損失	-31,135	-5,526	-2,978	2,344	-
税引前利益率	-	-	-	7.2%	
親会社の所有者に帰属する当期利益又は当期損失	-36,107	-3,260	-5,342	527	-
純利益率	-	-	-	1.6%	

出所：同社資料よりSR社作成

セグメント別会社業績予想

(百万円)	19年3月期 実績	19年12月期 実績 (9ヵ月)	20年12月期 実績	21年12月期	
				会予	前期比
営業収益	74,935	24,728	32,652	32,670	0.1%
日本金融事業	10,701	7,366	10,041	8,359	-16.8%
韓国及びモンゴル金融事業	39,662	6,756	5,656	4,264	-24.6%
東南アジア金融事業	13,025	9,673	15,953	18,921	18.6%
総合エンターテインメント事業	1,520	4,850	-	-	-
不動産事業	6,441	4,729	-	-	-
投資事業	1,214	815	953	646	-32.2%
その他	3,227	478	607	506	-16.6%
営業利益又は営業損失	-32,600	-5,130	-4,752	106	-
日本金融事業	4,251	3,082	4,860	3,674	-24.4%
韓国及びモンゴル金融事業	4,880	2,160	-330	-368	-
東南アジア金融事業	-17,712	-4,667	-5,541	-4,389	-
総合エンターテインメント事業	-15	-265	-	-	-
不動産事業	91	829	-	-	-
投資事業	-20,568	-1,768	-1,651	2,634	-
その他	39	-407	-161	-200	-

出所：同社資料よりSR社作成

2021年12月期の通期会社予想は、営業収益32,670百万円、営業利益106百万円、税引前利益2,344百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益527百万円である。営業収益については、東南アジア金融事業が前期比3,000百万円の増収を想定する一方、日本金融事業が同1,700百万円減、韓国及びモンゴル金融事業が同1,400百万円減と想定している。営業損益は日本金融事業と投資事業が利益を牽引する想定である。

このリサーチメモは、掲載企業の[最新版レポート](#)にも掲載されています。

株式会社シェアードリサーチは今までにない画期的な形で日本企業の基本データや分析レポートのプラットフォーム提供を目指しています。さらに、徹底した分析のもとに顧客企業のレポートを掲載し随時更新しています。

ディスクレーム

本レポートは、情報提供のみを目的としております。投資に関する意見や判断を提供するものでも、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。SR Inc.は、本レポートに記載されたデータの信憑性や解釈については、明示された場合と黙示の場合の両方につき、一切の保証を行わないものとします。SR Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。

本レポートの著作権、ならびに本レポートとその他Shared Researchレポートの派生品の作成および利用についての権利は、SR Inc.に帰属します。本レポートは、個人目的の使用においては複製および修正が許されていますが、配布・転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。

SR Inc.の役員および従業員は、SR Inc.の調査レポートで対象としている企業の発行する有価証券に関して何らかの取引を行っており、または将来行う可能性があります。そのため、SR Inc.の役員および従業員は、該当企業に対し、本レポートの客観性に影響を与える利害を有する可能性があることにご留意ください。

金融商品取引法に基づく表示

本レポートの対象となる企業への投資または同企業が発行する有価証券への投資についての判断につながる意見が本レポートに含まれている場合、その意見は、同企業からSR Inc.への対価の支払と引き換えに盛り込まれたものであるか、同企業とSR Inc.の間に存在する当該対価の受け取りについての約束に基づいたものです。

連絡先

株式会社シェアードリサーチ / Shared Research Inc.

東京都文京区千駄木3-31-12

HP: <https://sharedresearch.jp>

TEL : (03)5834-8787

Email: info@sharedresearch.jp